

北海道札幌あいの里高等支援学校 学校だより

青 藍

令和5年度 第1号 2023年5月26日発行



「札幌あいの里高等支援学校をより良い学校に」

校長 伊藤友紀

この4月に校長として着任いたしました、伊藤友紀と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

4月11日、62名の新入生を迎え第8回入学式を挙行いたしました。道内には多くの高等部、高等養護学校、高等支援学校があります。特に札幌圏においては、幾つかの学校を見学したり教育相談を受けたりする中で、複数の学校の中から進路先を選定することが可能です。入学する生徒にはそれぞれの学びや生活の歴史があり、進路選択についても、生徒によっては縛りや制限のある中で本校の選択だったかも知れません。それでも、自ら本校を選択して入学をしました。本校を選んで進学してきた181名の生徒の思いに応えるよう教育活動を充実し、そのための環境整備などに全力で取り組んでまいります。

校長として着任した初日には、職員の誰よりも早く出勤し、校内をくまなく見て歩くことを今までしてきました。年度末年度始めの時期ですので、教室移動があったり、前年度までの物が廊下に出されていたりして、校内が汚れがちになるのがこの時期なのですが、本校ではそのような乱雑さが一切ないのが印象的でした。古い学校、校舎ですので、経年的な汚れや傷みは随所に見られますが、それでも綺麗に使われていると思います。今までの学校では「始業式、入学式までには学校を美しくして生徒を迎えるように」と伝えることが常でしたが、本校ではその言葉は不要でした。

教職員の児童生徒に対する不適切な指導が報道されることがあります。それらの学校に共通するのは、児童生徒に対する敬称での呼名が定着していないことが挙げられます。生徒を呼び捨てにしない、苗字での「さん付け」を徹底するのは、人権の問題からでもあり、不適切指導を防ぐ狙いもあり、生徒の人格発達を促す狙いもあります。また、昨今ではLGBT当事者からの「外見の性だけで『さん』『くん』付けされたことへの違和感」などの指摘もあり、男女で呼称を区別することの問題からも「さん付け」を考える必要が出てきています。本校では開校以前に定めた職員行動規範があり、「苗字でさん付け」の呼称の統一が当然のように図られています。「さん付けの後には乱暴な言葉が続かない」といわれるように、生徒への指導や言葉掛けは柔らかく、丁寧な指導が自然とされています。

校内美化と呼称を例に挙げましたが、本校には開校以来、維持・継続し発展させてきた「よさ」や「強み」がたくさんあります。着任した校長の役割は、その「よさ」について、意味や価値を教職員に伝えることであり、一方で、その「よさ」は、今でも十分よいけれども、より一層よくなるものなので、磨きをかけていこうと、伝えていくのも校長の役割です。学校の課題や改善点は尽きるところがないのですが、本校が生徒にとってより良い学びの場となるよう、皆様の御理解と御協力をいただきながら、進めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

学年紹介

1 学年

令和5年4月11日、入学式が行われ、新入生62名が仲間入りしました。御入学、おめでとうございます。通学の方法、教室、友達や先生の名前、時間割や学校のルールなど、1年生は覚えることがたくさんあります。着替えや校舎の移動も、先輩のようにスムーズにはいきません。慣れない環境にへとへとだと思います。それでも、高校入学を機に頑張ろうと毎日登校してきています。

「1年生として大切にしたいこと」として、木に例えて「根っこや幹を育てよう」と伝えています。風が吹いても簡単に折れないタフな大人になるために、①学校に来て、②勉強や部活など苦手なことでも挑戦して、③自分を観察することを頑張っています。じっくり自分たちの根を育て、いつか周りの人から愛され、可愛がられるたくましい木になってほしいと思います。(文責:板橋敦子)

2 学年

新入生を迎え、歓迎の気持ち、嬉しい、楽しい気持ち、新たなスタートに胸をときめかせ2年生がスタートしました。2年生の目標は「自分の力を高める、友達と共に力を高める、2学年として(先輩、後輩、学年)の力を高める」です。1年生では自分も友達も楽しく安全に過ごせるように考えながら、学校生活を過ごし、様々な学習、経験で力を高めてきました。2年生ではそれに加えて先輩としての役割が求められます。さらに自分を高め、将来の夢や目標に近づくよう過ごしてほしいと考えています。

生徒が健やかに成長し、楽しく学び続けることができるよう支援、指導していきますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。(文責:鈴木奈都)

3 学年

私たちが普段当たり前にしていた生活に制限が課され、数々の機会を失うことになったコロナ禍。私たちは様々な体験を失っただけでなく、お互いの表情を感じ取ったり、数多くの会話の機会さえも奪われたりしました。それでも、私たちはこの困難に自分自身や大切な仲間達に向き合い、今ある時間をより深く、互いを思いやる気持ちをもって豊かに過ごすことに努めました。

3年生は、これまで以上に自分自身や周りの人々に目を向け、互いに尊厳をもって接することができる生徒だと感じています。私たち3学年スタッフも残された1年間で生徒が自信をもって生きていくための力を更に付けたいと考えています。一つでも多くの経験を通して豊かな人になってほしいと願う学年スタッフの思いが確実に伝わる1年となりますよう保護者の皆様と手を携えて取り組んでいきたいと思っております。(文責:宮崎裕也)

北海道札幌あいの里高等支援学校

地域販売会



あい Circle

あい circle 推進委員会

本校の教育課程の特色の一つである「地域と共に歩む教育活動」を具体化するための取組として、あい circle という地域販売会を今年度再開します。平成30年から令和元年まで実施していた取組ですが、新型コロナウイルスの流行に伴い中止しておりました。内容は、製品販売や活動発表等で、地域の企業や事業所等の方も招いて、札幌市北部の地域活性化につながる取組としてリニューアルします。日程は、7月22日(土)と11月11日(土)の2回実施します。詳細は、ポスターやHP等で後日お知らせいたします。学校のみならず、地域の方々や保護者の皆様と一緒に、生徒の成長を支えられるようなイベントにしたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。(文責:解良和人)

新転入者の挨拶

副校長 中川正規先生

道南の七飯養護学校から着任してきました。高校生だけの特別支援学校での勤務は初めてです。

生徒の皆さんが、夢の実現に向けて、安心して多くのことを学ぶことのできる学校となるよう取り組みたいと考えております。

そのために、保護者の皆様はもとより、地域の皆様とも手を携え合いながら教育活動がさらに充実するよう取り組んでまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

植井真先生(1年3組担任)

十勝の上士幌高校から転任して半月。元気な挨拶と、前向きに授業や作業に取り組む姿勢に、感動している毎日です。手厚い指導の成果が感じられ、その一員として身が引き締まる思いです。

これまで職業高校と普通高校、職業科目と普通科目(理科)、都市と地方、いろいろな高校を5校経験してきました。公立学校に入る前には塾や予備校なども経験していますが、思春期に揺れ動く子どもたちの姿は同じです。本校でも個性を踏まえながら成長を助けていきたいと考えています。

専門は水産食品学と教育経営学。旅行と写真が趣味です。生徒と一緒に、毎日驚き、感動し、失敗して、成長していきたいと願っています。皆さんといろいろお話ししながら、本校を素晴らしいものにしていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願いいたします。

泉波卓也先生(1年4組担任)

この度、紋別高等養護学校より赴任いたしました。1年4組の担任としてお世話になります。専門教科は社会科です。生徒数や教室の多さに圧倒されながら毎日を過ごしています。一日でも早く名前と顔を覚えるようにしたいです。生徒の可能性を信じ、生徒たちが成長できたと感じられるよう努めていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

橋本豊夢先生(1年7組副担任)

この度、北海道上磯高校からまいりました橋本豊夢です。担当教科は1学年の保健体育、体力づくりです。前任校は全校生徒50人という小規模校でしたので、校舎の大きさや生徒数にとっても驚いています。

本校の校訓でもある「チャレンジ」の気持ちを持って、皆さんと全力で走り抜けていきたいと思ひます。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本山準一先生(1年8組副担任)

この度、札幌白石高校から赴任いたしました。1年8組の副担任と総合的な探究の時間・情報・数学・理科・職業の授業を担当させていただいております。まだまだ不慣れな部分がありますが、日々生徒の皆さんからの元気な挨拶と笑顔に力をもらっています。

この赴任の縁を大切に、多くの可能性を秘めた生徒の成長の一助となれるよう力を尽くしたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

諏訪江梨子先生(1年9組担任)

1年9組担任の、諏訪江梨子と申します。前任は秋田県にあります、秋田県立ゆり支援学校です。初めての北海道ですが、元気で明るい1年生からパワーをもらい、毎日楽しく過ごしております。生徒たちとたくさん話をしながら、生徒の「未来」のために、新しいことや苦手なことにもどんどん「チャレンジ」し、支えてくださる皆様への「感謝」を忘れずに頑張りたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

茂原恵先生(実習担任教諭)

北海道白樺高等養護学校より赴任してきました。主に窯業作業・木工作業の時間に関わるようになります。作業時間はもちろん、様々な活動を通してあいの里高等支援学校の良さ、皆さんの良さをたくさん見つけつつ、自分自身も成長していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

前川 互先生(2年1組副担任)

このたび、生産技術科2年1組の副担任になりました前川互(わたる)です。

札幌あいの里高等支援学校には3年前までに一度勤務していました。その後小樽高等支援学校で勤務して戻ってきました。久しぶりに戻ってきて懐かしさを感じるとともに、私がいた頃にコロナが始まったので大変だったことを思い出しています。

生徒の皆さんとは主に作業学習や、美術、職業などで学ぶこととなりますが、出会いを大切にしてくださいと力を合わせて充実した学校生活にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平賀 真紀先生(2年2組担任)

小樽高等支援学校からまいりました。札幌あいの里高等支援学校で4校目、特別支援学校での勤務は2校目になります。

今年度は環境・流通サポート科2年2組の担任として1年間お世話になります。教科は、家庭科・国語・情報・作業学習・保健体育など様々な学習のサポートに入ります。保護者等の方々と協力しながら生徒の進路実現のためにサポートしていきます。色々と御迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。

塚本 雪子先生(2年7組副担任)

これまで別の仕事や主婦などをしてきましたが、このたびご縁があり着任いたしました。

先生方の細やかで愛情あふれる指導、元気で礼儀正しい生徒の皆さんから刺激を受ける毎日です。

2年生の音楽、総合的な探究の時間、職業、体力づくりなどを担当します。まだまだ不慣れですが、札幌あいの里高等支援学校の仲間として頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

高橋 由紀先生(2年8組担任)

白樺高等養護学校から赴任してきました。普通科、2年8組の担任として、クラスはもちろん2年生の皆さんと楽しく、充実した毎日を過ごしていきたいと思っています。

また、将来の夢の実現に向けて、必要なスキルを身に付けていけるように、生徒の皆さんと一緒に成長していきたいと思っております。

保護者の皆様に御協力いただく場面も多くあると思っております。よろしくお願いいたします。

油井 里枝先生(教諭)

この春、着任いたしました、油井里枝と申します。主に2年生の家庭科と美術の授業を担当いたします。

生徒の皆さんにとって、札幌あいの里高等支援学校で学んだ毎日が、卒業後社会の中で生きていく上での大きな「支え」となるよう、微力ではありますが、尽力させていただきます。

保護者の皆様、地域の皆様に御協力いただきながら、生徒の皆さんの気持ちに寄り添い、ともに歩んでまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

森本 龍志先生(3年5組副担任)

このたび、札幌あいの里高等支援学校に着任しました森本龍志(もりもとりゅうし)と申します。出身は愛媛県で、大学進学をきっかけに北海道にまいりました。大学では社会福祉学を専攻しておりました。今年度は3年5組福祉サービス科の副担任をさせていただきます。北海道生活5年目、そして社会人生活1年目となる今年度、様々なことに挑戦(チャレンジ)し続ける姿勢を忘れず、生徒の皆さんとともに精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

駒林 由花先生(養護教諭)

この4月から新採用の養護教諭として着任いたしました。

着任してから月日は浅いですが、札幌あいの里高等支援学校は、素直で明るく、積極的に話しかけてくれる生徒の皆さんがいて、毎朝元気な挨拶が飛び交う素敵な学校だと、日々実感しております。

まだまだ不慣れな部分が多々ありますが、生徒の皆さんをサポートすることができるよう精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

風に揺れる草木、美しく香る花々、
自然豊かなここあいの里には、
いつも穏やかな時間が流れています。
いよいよ令和5年度がスタートしました。
今年度も札幌あいの里高等支援学校を
どうぞよろしくお願いいたします。